

子どものこと、ひとりで抱え込まないで  
話してみませんか

【特集】

# 広げよう

# 子育てだての

# わ

子どもの  
気持ちを  
理解したい

育児に  
自信が  
持てない

子どもが  
言うことを  
聞かない

子どもを  
たたいて  
しまう

先のことを  
考えると  
不安になる

ママ友だちが  
いない  
・  
相談する  
相手がほしい





# 子そだては、 「わからないことばかり」が あたりまえ

▲ 保健師や助産師によるご自宅への訪問“こんにちは赤ちゃん訪問”で、「子育て支援事業日程表」「予防接種のご案内」「子どもの救急対応マニュアル」「ブックスタートへようこそ!」などをお渡しします。



▲ 健康推進課 太田 友美 (保健師)  
「予防接種や乳幼児相談、子どもの健康全般の相談を承ります。窓口でも電話でもけっこうですよ。」

子そだてについての心配事や悩みがあれば、気軽に相談してください。必要があれば、別のスタッフや専門機関を紹介します。

子どもを授かったことがわかったら、そこから子そだてが始まります。

さまざまな形で  
子そだてを支援します



## 成長に合わせて 予防接種を受けましょう

子そだてをする中でまず心配になるのは、健康に育ってくれるだろうかということではないでしょうか。

生まれたての赤ちゃんには、母親から譲り受けた病気に対する抵抗力（免疫）がありますが、この抵抗力は赤ちゃんの成長とともに自然に失われていきます。そのため、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

予防接種とは、ワクチンを接種して免疫をつくることにより、発病を予防したり、症状を軽くしたりする方法です。感染症にかからないように、また病気を流行させないためにも、予防接種を受けて免疫力を高めましょう。

現在、予防接種には結核・ポリオ・破傷風・ジフテリア・百日咳などがあり、健康推進課で接種に望ましい時期をお知らせしています。



## Bookstart

### ブックスタートで 幸せな本との出会い

赤ちゃんと保護者に、絵本を通して楽しい時間を持つてもらうためのきっかけとなるよう、皆さんの手元に絵本を届ける取り組みが、ブックスタートです。『こんにちは赤ちゃん訪問』のときに、小さな本を一冊お届けします。絵本を通じてあかちゃんに語りかけ、赤ちゃんも保護者も幸せな時間をすごしてください。

### 読み聞かせの効果

- ことばの発達を促す
- 親子のふれあいを深める
- 親子で「読む」楽しさと喜びを共有できる
- 絵本から愛、平和、人権などを学ぶ



# 子どもはまちのたからもの。 相談して、話をして、 みんなと一緒に子そだて！



## ◆子育て包括支援センター

「親も子どもも生き生きと！  
気軽に遊びに来てください」

ハイトピア伊賀の4階にある子育て包括支援センターでは、遊び場を開放しています。じゅうたん敷きの広いプレイルームに、ボールやままごとの道具などさまざまなおもちゃがあり、予約なしで自由に遊ぶことができます。

「子どもをのびのびと遊ばせたい」「子そだての相談をしたい」「近い年齢の友だちがほしい」というようなときに気軽に訪れてほしい、子そだてのためのスペースです。

各支所管内にも子育て支援センターがあります。いがまち・島ヶ原・あやま・大山田・青山の子育て支援センターで、主に平日、遊び場を開放していて、保健師や市職員が悩みなどの相談にも応じています。

また、毎日の開放に加えて、1か月に2回程度、各子育て支援センターなどで、絵本の読み聞かせや誕生会、育児に関する相談会などの教室を実施しています。

市内在住であれば、どの子育て支援センターの遊び場の開放にも参加できます。

※子育て支援センターについての毎月の予定など詳しくは、広報いが市の毎月15日号に掲載している「子育て支援センターの教室・遊び場」



の開放（対象：乳幼児と保護者）  
をご覧ください。

### 各子育て支援センターの 遊び場の開放・開室日

- 子育て包括支援センター  
（月）（金） 午前9時～午後5時
- いがまち子育て支援センター  
（月）（金） 午前9時～午後5時
- 島ヶ原子育て支援センター  
（月）（金） 午前9時～午後5時
- あやま子育て支援センター  
（火）（土） 午前9時～午後5時
- 大山田子育て支援センター  
（月）（金） 午前9時～午後5時
- 青山子育て支援センター  
（火）（土） 午前9時～午後5時

## 仕事が終わりの日は子どもと じっくり向き合います

荒井 之也さん

創太くん（4歳）

子そだては、楽しいことも大変なこともあります。

朝、出かけるときには見送ってくれて、仕事から戻ると「おかえり！」と出迎えてくれるのが、うれしいですね。

近ごろは人との接し方をおしえていて、「おもちゃはほかの子にも貸してあげるんだよ」とか「あいさつをちゃんとするんだよ」ということなどを話しています。「ありがとう」や「ごめんなさい」を言えるようになってきたところです。







## ◆ 子そだてサークル

みんなで楽しく

子そだてに関する活動を

気の合った仲間同士で、または同じ趣味を持つ人たちが集まって、サークルをつくってみませんか。

子そだて中の人などが集まって、悩みを共有したり、子どもと一緒に遊ばせたり、ときには講師を招いて勉強会をしたりと、仲間同士でも子そだてをしようというのが子そだてサークルです。子ども同士、親同士の仲間作りに、子そだてのため

の情報交換に、子そだて中の楽しみ作りにと、子そだてをサポートしてくれる活動です。

子育て包括支援センターではそんな子そだてサークルを作りたい、子そだてサークルに入りたいなどの相談に応じています。

また、情報を提供したり絵本の貸し出しをするなどしてサークル活動を支援します。子育て包括支援センター内にある多目的室や調理実習室などを活動に使っていただくこともできます。子そだてサークルについて詳しくは、お問い合わせください。

## 温かな雰囲気

感じに来てください

子育て包括支援センター職員  
東山 さおり

小さい子どものお母さんはもちろん、妊婦さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんにも利用していただいています。お友だちがほしい人には、近くに住んでいる親子を紹介したり、悩みがあるときは相談に乗ったりもします。



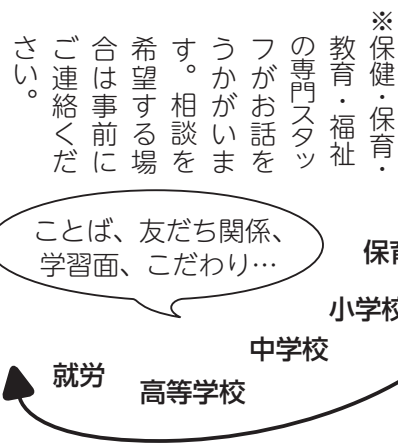
## ◆ こども発達支援センター

成長の仕方が違うなと思ったら、まずは相談してみませんか

子どもの成長や発達で、気になることはありませんか？

発達のしかたに気になることがあるとき、親の育て方や周囲の関わり方が原因ではなく、子どもの発達過程で原因が生じているかもしれせん。「気になる」ことの原因を早期に見つけ、周囲の理解と工夫などがあれば、子どもに合った発達を支援できます。こども発達支援センターは、子どもの発達について、いつでも気軽に相談できるところです。

保護者と支援者が子どもの発達についてともに考え、必要に応じて関係機関などの連携を図りながら、子どもの年齢に応じて、適切なことな





「子そだてと仕事を両立させたい。」  
「親も自分らしく生きたい。」  
困ったときは相談してください。

◆ファミリー・サポート・センター

「お迎えの時間に間に合わない！」  
「そんなときにもご利用ください！」

仕事の都合などで、保育園（所）や放課後児童クラブの終了時間までに迎えに行けないときや、子どもの軽い病気や病後児（病気の回復期にある子ども）の世話ができないときに、子どもの一時預かりを依頼できるのが、ファミリー・サポート・センターです。

「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」からなる会員組織で、おたがいの信頼と了解の上で運営されています。

安全に子どもを預かるため、援助を行う人は、事故対策も含めた援助活動のための講習を受けています。

また、会員同士の交流と情報交換のための交流会を催し、援助を受けたい人と援助を行いたい人のつながりを深めながら、支援を進めています。

【受付時間】

月～土曜日

午前9時30分～午後5時

※祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

【利用料の基準】

※基本の預かりの場合

○午前7時～午後7時

…700円/時間



○それ以外の時間

…800円/時間

※緊急（当日の利用申込）と、

病児・病後児の預かりの場合

○午前7時～午後7時

…1,000円/時間

○それ以外の時間

…1,200円/時間

○宿泊（午後10時～翌朝6時まで）

…5,000円/回

【その他】

○兄弟姉妹など同一世帯の複数の児童を預かる場合は、2人目から半額

○1時間未満は1時間とみなします。

○時間を延長したときは、30分以下は1時間あたりの金額の半額とし、30分を超え1時間までは1時間あたりの金額とします。

○食事代、おやつ代、交通費などの実費は「育児の援助を受けたい人」が負担してください。

ひとりで悩まないで  
～DV（ドメスティック・バイオレンス）～

DV(ドメスティックバイオレンス)  
：配偶者からの暴力

子どものことや家族のこと、ひとりで抱え込まないで話してみませんか。

さまざまな問題をかかえて、「逃げたくても逃げられない」そんなとき、電話や窓口で悩みを打ち明けてください。解決の糸口が見つかるかもしれません。

こんな経験があるのなら、それはDVです

- 身体的暴力：殴る蹴る、刃物を突きつけるなど
- 性的暴力：性交を強要する、避妊に協力しない
- 精神的暴力：大声で怒鳴る、無視する、人前でバカにする
- 経済的暴力：生活費を入れない、借金の強要
- 社会的暴力：実家や友人との付き合いや外出を禁止したり、ストーカー行為をするなど

DVに悩んだら、こども家庭課で相談してください。

## 「広げよう子そだてのわ」

みんなが主役♪

### 《IGA キッズコレクション》

【とき】

3月16日(出) 午後1時～

【ところ】 ハイトピア伊賀5階

【内容】

- ファッションショー
- キッズダンス
- 表彰式

### 《あそびのひろば》

【とき】

3月16日(出)午後0時30分～

【ところ】 ハイトピア伊賀4階

【内容】

- 子ども服などのフリーマーケット
- 手遊び・紙芝居
- パネルシアターなど



【受付時間】 月～金曜日  
午前8時45分～午後5時30分  
※祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く。

【対象者】 病気の回復期にあり、保育所(園)・幼稚園・小学校などでの集団生活が困難な子ども。

「くまさんルーム」は、保護者の勤務の都合などで、病後の子どもの保育ができないとき、一時的に子どもを預かる施設です。  
常に保育士と看護師を1人ずつ配置して、子どもの状態に合わせた保育と看護を行っています。

◆病児・病後児保育室  
「くまさんルーム」  
子どもが病気で困ったら

【利用料金】  
○所得税課税世帯…1,000円/日  
○市民税課税世帯…500円/日  
○市民税非課税世帯…無料

【提出書類】  
①「医師連絡票」(前日か当日にかかりつけ医師に診察後に記入していただき必ず持参)  
②「利用登録書兼利用申請書」(捺印が必要)  
③「家庭での様子」  
※必要書類は病児・病後児保育室、こども家庭課、市内の各保育所(園)、市内の小児科にあります。  
※②③は、当日くまさんルームで記入いただくこともできます。

【住所】  
伊賀市病児保育室「くまさんルーム」  
(四十九町831-2 市立上野総合市民病院敷地内)  
【利用方法】 ①電話で予約 ②来所  
③必要書類3枚を提出 ④保育室へ



### 問い合わせ

#### ◆子そだてに関すること

子育て包括支援センター ☎ 22-9665 FAX 22-9666

#### ◆健康相談・予防接種・離乳食などに関すること

健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666

#### ◆子どもの発達に関すること

こども発達支援センター ☎ 22-9627 FAX 22-9646

#### ◆伊賀市ファミリー・サポート・センター

☎ 26-7830 FAX 26-7831

#### ◆子どもについての相談・女性相談・母子自立相談

こども家庭課 ☎ 22-9609 FAX 22-9646

#### ◆伊賀市病児・病後児保育室くまさんルーム

☎ 22-0192 FAX 22-1124

◇いがまち子育て支援センター ☎ 45-1015

◇島ヶ原子育て支援センター ☎ 59-9060

◇あやま子育て支援センター ☎ 43-2166

◇大山田子育て支援センター ☎ 47-0088

◇青山子育て支援センター ☎ 53-0711